



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,638	5.2	284	△19.0	290	△18.6	200	△20.4
2024年3月期第3四半期	6,311	△11.3	351	△20.8	357	△20.7	251	△19.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	159.58	-
2024年3月期第3四半期	200.84	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,048	2,849	56.5
2024年3月期	5,404	2,706	50.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,849百万円 2024年3月期 2,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	58.00	58.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	70.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年3月期期末配当は創立40周年の記念配当を含めた合計となります。

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	4.7	500	19.3	510	19.8	350	19.4	279.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,454,000株	2024年3月期	1,454,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	198,167株	2024年3月期	200,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	1,254,802株	2024年3月期3Q	1,252,180株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等は進んでいるものの、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費等の上昇による物価上昇の影響により消費意欲は低調に推移しており、先行き不透明な状況となっております。

このような状況下で当社は、主力であるパソコン本体の販売は減少したものの、通信販売事業と不動産事業が好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

しかし、パソコン販売の減少に伴い、当社の収益の柱でもありますサポート実績が低迷したため、利益面では苦戦をしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高6,638,738千円(前年同期比5.2%増)、経常利益290,878千円(前年同期比18.6%減)、四半期純利益200,248千円(前年同期比20.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は6,069,785千円(前年同期比1.1%増)となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

(パソコン事業)

パソコン事業の売上高は3,116,710千円(前年同期比6.1%減)となりました。

パソコン事業においては、国内でのパソコン小売り市場の動向は第3四半期に入り、徐々に回復傾向にあります。第2四半期累計期間までの販売減を挽回するまでには至っていない状況であります。ただ、2025年は、Windows 10のサポート終了に伴うパソコンの買い替え需要が予想され、業績に反映されることが期待されます。

また、話題性の高いゲームタイトルの発売を2025年2月に控えており、高性能なゲーミングPC及び自作PCの購入が増加しております。特に専門店である当社におきましては、ゲームの情報をいち早く収集し、必要なスペックを備える商品群の品揃えを強化することでお客様のニーズにお応えする売り場づくりを構築し、年末商戦期から販売が好調に推移しております。

その他、当社の強みであるサポートの推進を行い、これまでの初期設定やデータ移行に加えて、初めてゲーミングPCを購入するユーザーを対象とした自作PCの組立代行やゲーム環境の構築等のサポートにも注力しております。これらにより第3四半期会計期間における売上高は前事業年度を上回ったものの、中間期までの売上の落ち込みを挽回するまでには至らず、第3四半期累計期間におけるパソコン事業全体の売上高は減少しました。

(バイク事業)

バイク事業の売上高は175,069千円(前年同期比5.5%減)となりました。

バイク事業においては、店頭での品揃えでは限界があり、商品展開に制約の少ない通信販売へシフトしている傾向が続いておりますので、通信販売は売上高が増加しているものの、店頭における売上高は減少傾向にあります。ただ、店頭販売を行っていることが通信販売における購入時の安心感となっているため、店頭販売も継続して取り組んで参ります。

(インターネット通信販売事業)

インターネット通信販売事業の売上高は2,778,006千円(前年同期比11.1%増)となりました。

インターネット通信販売事業においては、バイク用品の売上高増加が続いており、通信販売事業全体の売上高を押し上げております。商品掲載を継続的に増やす取り組みが売上高の拡大につながっており、ユーザーの購買意欲も高まっております。

加えて、パソコンの周辺機器の外付けHDDも販売が好調でした。今夏はオリンピックを始めとするスポーツイベントが多かったこともあり、ニーズが高まっていたことも追い風となり販売増加につながりました。また、店頭販売同様に話題性の高いゲームタイトルの発売を控えた状況で、グラフィックボードを中心とした組立PC用のパーツが好調に推移しており、今後も継続が見込まれます。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は568,952千円（前年同期比84.5%増）となりました。

不動産事業においては、大型案件の成約に加えて積極的な営業活動が効果を上げ、売上高は前事業年度を上回る実績となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて356,152千円減少し、5,048,253千円となりました。その主たる要因は、商品が182,835千円増加し、現金及び預金が148,858千円、売掛金が166,455千円、販売用不動産が264,048千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて498,795千円減少し、2,198,756千円となりました。その主たる要因は、買掛金が65,581千円、未払法人税等が27,653千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が350,830千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて142,642千円増加し、2,849,497千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は56.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,016	611,158
売掛金	563,686	397,230
商品	1,949,628	2,132,464
販売用不動産	313,970	49,922
その他	164,989	164,422
貸倒引当金	△1,341	△2,907
流動資産合計	3,750,951	3,352,291
固定資産		
有形固定資産		
土地	896,393	896,393
その他(純額)	182,678	165,280
有形固定資産合計	1,079,072	1,061,674
無形固定資産	15,661	11,570
投資その他の資産	558,720	622,716
固定資産合計	1,653,454	1,695,961
資産合計	5,404,406	5,048,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	774,698	709,116
1年内返済予定の長期借入金	497,966	375,470
未払法人税等	56,639	28,986
賞与引当金	32,932	14,097
契約負債	289,927	276,907
その他	153,789	126,348
流動負債合計	1,805,954	1,530,925
固定負債		
長期借入金	780,098	551,764
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	107,366	111,933
固定負債合計	891,597	667,830
負債合計	2,697,551	2,198,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	324,422
利益剰余金	2,294,884	2,422,445
自己株式	△262,749	△259,346
株主資本合計	2,687,874	2,819,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,979	29,989
評価・換算差額等合計	18,979	29,989
純資産合計	2,706,854	2,849,497
負債純資産合計	5,404,406	5,048,253

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,311,330	6,638,738
売上原価	4,585,435	4,918,842
売上総利益	1,725,895	1,719,895
販売費及び一般管理費	1,374,274	1,435,173
営業利益	351,621	284,722
営業外収益		
受取手数料	4,711	4,553
受取配当金	2,487	3,634
その他	1,378	954
営業外収益合計	8,576	9,142
営業外費用		
支払利息	2,687	2,985
営業外費用合計	2,687	2,985
経常利益	357,510	290,878
特別利益		
関係会社清算益	2,629	—
特別利益合計	2,629	—
税引前四半期純利益	360,139	290,878
法人税等	108,641	90,630
四半期純利益	251,498	200,248

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	26,186千円	23,234千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,002,956	308,374	6,311,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,002,956	308,374	6,311,330
セグメント利益	295,943	55,677	351,621

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,069,785	568,952	6,638,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,069,785	568,952	6,638,738
セグメント利益	185,816	98,905	284,722

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。